

第 57 回運転・保守分科会議事録（案）

1. 日 時：2025 年 2 月 5 日（水）13:30～16:00

2. 場 所：一般社団法人 日本電気協会 4 階 A 会議室（Web 併用会議）

3. 出席者：（敬称略，順不同）

出席委員：出町分科会長（東京大学），永田幹事（日本原子力発電），大野（日立 GE ニュクリア・エンジン），日隈（東芝エネルギーシステムズ），松澤（三菱重工業），山本（関西電力），古川（東北電力），鈴木直（中部電力），藤田（北海道電力），芦谷（九州電力），関根（東京電力 HD），村上（北陸電力），森脇（中国電力），山崎（電源開発），浜田（日本原燃），桐本（電力中央研究所），近澤（日本原子力研究開発機構），堀（日本原子力研究開発機構），歌野原（公立小松大学），渡辺（元福井大学），井口（発電設備技術検査協会），小倉（元ケツパルプサービス），仲井（元日本原子力研究開発機構），永山（原子力安全システム研究所），野村（原子力発電訓練センター），岩垂（BWR 運転訓練センター）

（計 26 名）

代理出席者：

（計 0 名）

欠席委員：豊田（四国電力），糸井（東京大学），内一（東北大学），木倉（東京科学大学），鈴木正（中京大学），高橋（東北大学），坂元（原子力安全推進協会），澁谷（日本エヌ・ユー・エス）

（計 8 名）

説 明 者：川島（JAXA）

保守管理検討会 牧原主査（東京電力 HD），明石福主査（四国電力），平原副主査（九州電力）

運転保守指針検討会 松澤主査（東京電力 HD），米澤副主査（日本原子力発電）

緊急時対策指針検討会 安田主査（北陸電力）

防火管理検討会 永田（東京電力 HD）

運転管理検討会 近藤（東京電力 HD）

（計 9 名）

常時参加者：なし

（計 0 名）

オブザーバ：なし

（計 0 名）

事務局：梅津，中山（日本電気協会）

（計 2 名）

4. 配付資料

57(1)-1 運転・保守分科会委員名簿

57(1)-2 運転・保守分科会委員名簿（日程調整）

57(2)-1 運転管理検討会委員名簿（案）

57(2)-2 緊急時対策指針検討会委員名簿

57(2)-3 保守管理検討会委員名簿

57(2)-4 防火管理検討会名簿

57(2)-5 運転保守指針検討会名簿

57(3) 第 56 回運転・保守分科会議事録（案）

57(3)-参考 第 92 回原子力規格委員会議事録（案）

- 57(4)-1 保守管理規程/指針の次回改定について
- 57(4)-2 JEAC4209-202X 新旧比較表 (案)
- 57(4)-3 JEAG4210-202X 新旧比較表 (案)
- 57(4)-4 JEAC4209/JEAG4210 改定に向けた国内外の知見リスト
- 57(4)-5 JEAC4209/JEAG4210 改定案 (中間報告) に関する運転・保守分科会から頂いた意見等
- 57(4)-6 JEAC4209/JEAG4210 改定案 (中間報告) に関する原子力規格委員会から頂いた意見等

- 57(5) JEAG4803-1999 廃止に係る状況報告に関する原子力規格委員会から頂いた意見等

- 57(6)-1 2025 年度 各分野の規格策定活動 (運転・保守分科会分) (案)
- 57(6)-2 原子力規格委員会 運転・保守分科会 2025 年度活動計画 (案)

5. 議 事

事務局から、本会議にて、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触するおそれのある活動を行わないことを確認の後、出町分科会長の開催の挨拶があった。

(1) 代理出席者、オブザーバ、委員定足数、常時参加者、説明者、配付資料の確認

事務局より、出席委員は現時点で 25 名であり、分科会規約第 10 条 (会議) 第 1 項の開催条件の委員総数の 3 分の 2 以上の出席を満たしているとの報告があった。その後、説明者 9 名の紹介及び配付資料の確認があった。また、委員候補 1 名について、次回原子力規格委員会で分科会委員として承認される予定であるとの紹介があった後、委員候補者より挨拶があった。

・委員候補 川島 氏 (JAXA)

(2) 検討会新委員候補について (審議)

事務局より、資料 No.57(2)シリーズに基づき、下記検討会委員の変更について説明があった。分科会規約第 13 条 (検討会) 第 4 項に基づき、検討会委員変更について分科会規約第 12 条 (決議) 第 4 項に基づく決議の結果、特にコメントはなく、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(3) 前回議事録の確認 (審議)

事務局より、資料 No.57(3)に基づき、前回議事録 (案) の説明があり、正式議事録とすることについて分科会規約第 12 条 (決議) 第 4 項に基づき決議の結果、特にコメントは無く、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

また、資料 No.57-参考に基づき、第 92 回原子力規格委員会における JEAC4209/JEAG4210 改定の中間報告及び JEAG4803-1999 廃止の状況報告について紹介があった。

(4) 規格改定案の中間報告

1) JEAC4209/JEAG4210 「原子力発電所の保守管理規程/指針」

保守管理検討会 牧原主査より、資料 No.57(4)シリーズに基づき、JEAC4209/JEAG4210 改定案について中間報告 (2 回目) があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.57(4)-6 の No.6 について、品質保証分科会との議論はいつまでを想定しているのか。
- 2024 年度内を目途に議論を開始し、2025 年度上期の上程までに数回に実施することを考えている。
- ・ 次回原子力規格委員会での中間報告時には資料 No.57(4)-6 の「表 JEAC4209 と JEAC4111 との間の不整合」も資料として提示するのか。
- 本表は「修正案(例)」を含めてご意見に添付されていたものであるため、提示する。なお、「修正案(例)」は保守管理検討会が検討・作成したものではない。
- ・ 資料 No.57(4)-6 の No.6 について、対応案は「議論を実施」までで問題ないか。議論の結果、場合によっては JEAC4111 の改定が必要な事項が出てくる可能性もあるため、今回の JEAC4209/JEAG4210 改定までに全ての結論を出せるわけではないという認識でよいか。
- ご指摘の通り、JEAC4111 へ反映という事項も出てくる可能性はあり、それも踏まえて現状記載の「議論を実施」としている。
- ・ 資料 No.57(4)-6 の No.19 と No.20 について、例えば法令用語で使われているものがないかも含めて確認すべき。
- ・ 資料 No.57(4)-1 の最後のページ、先の議論と関連するが、JEAC4111 との整合についてはすべて見直すように見える。次回以降改定も含めて検討するような表現にしたほうが良い。
- ・ 本件については、追加の意見について事務局に送付願う。意見伺いの期間は 3 月 5 日(水)までとする。また、3 月 26 日の原子力規格委員会へも中間報告を実施する。

(5) JEAG4803-1999「軽水型原子力発電所の運転保守指針」廃止に向けた状況報告

運転保守指針検討会 松澤主査より、資料 No.57(5)に基づき、原子力規格委員会から頂いたご意見を中心に、JEAG4803-1999 廃止に係る状況について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ これまで分科会としては JEAG4803-1999 に対するユーザーのニーズが無いため廃止するという方針で整理してきたものの、原子力規格委員会からのご意見を踏まえると、ASME OM の扱いを含めた今後の取り組みを整理する必要があると考えている。
- ・ 現時点では、活動計画においても JEAG4803-1999 廃止の方針自体は取り下げず、今後運転保守指針検討会の活動方針を明確にしていきたい。
- ・ 運転保守指針検討会は、JEAG4803-1999 廃止を目的に設置された。仮の話ではあるが、ASME OM をフォローしていくとなった場合、検討会やタスク等の体制についても検討する必要がある。
- ・ JEAG4803 方針検討タスクでは、全事業者が JEAG4803-1999 は必要ないという意見だったことを確認している。また、JEAG4803-1999 の基になっている ASME OM はかなり古い版であり、2020 年版では新たな項目が追加されていることも確認している。それらの扱いは分科会で検討するという結果だったはず。運転保守指針検討会としての結論が JEAG4803-1999 の維持であれば、分科会へ上程して決議すればよい。ただ、ASME OM のフォローが必要となった場合には、現運転保守指針検討会ではなく、どうするかを分科会で議論すべき。
- ・ JEAG4803-1999 廃止の方針は分科会で決めたもの。原子力規格委員会のご意見も、廃止自体がダメ、ではなく、JEAG4803-1999 に対するユーザーのニーズが無いことだけをもって廃止しても大丈夫か、

ということだと思われる。JEAG4803-1999を維持することのデメリットも含めて説明すべき。

- ・ まずは、次回分科会を目的に、分科会ともご相談しながら検討を進める。

(6) 2025年度運転・保守分科会活動計画(案)について(審議)

各検討会委員より、資料No.57(6)シリーズに基づき、2025年度運転・保守分科会活動計画(案)について説明があった。

2025年度運転・保守分科会活動計画(案)を原子力規格委員会に上程することについて、決議の結果承認された。

主なご意見コメントは下記のとおり。

- ・ 資料No.57(6)-1のP2, インデントを修正すること。
 - ・ 資料No.57(6)-2のJEAC4804及びJEAG4805について、2025年度活動計画が「なし」となっている。他規格、特にJEAG4103等と比べると違和感がある。中長期活動計画に記載されている事項を実施するのではないのか。
 - 当該2規格については、具体的な改定予定時期は未定であり、2025年度に検討会としての具体的な改定作業はない。JEAG4103については、具体的な改定予定時期を定めただうえで、改定に向けた作業を実施する予定としている。また、JEAG4802については直接的な改定作業ではないものの、再稼働済プラントへの運転員受け入れについての活動を検討会として継続実施するため、2025年度活動計画として記載している。このような差異があるため、現状記載のままをしたい。
 - ・ 運転・保守分科会2025年度活動計画を、今回の資料で原子力規格委員会に上程することについて、決議を取りたい。
- 特に異論がなかったため、運転・保守分科会2025年度活動計画を今回の資料で原子力規格委員会に上程することについて、分科会規約第12条(決議)第4項に基づき挙手にて決議の結果、特にコメントはなく、出席委員の5分の4以上の賛成で承認された。

(7) その他

- ・ 出町分科会長より、運転・保守分科会及び傘下検討会委員の2024年度活動への貢献に対し、感謝する旨の発言があった。
- ・ 2024年度功労賞について、運転・保守分科会より小倉委員を推薦したことについて紹介があった。また、小倉委員より挨拶があった。
- ・ 次回運転・保守分科会は、JEAG4102改定案の上程及びJEAG4803-1999廃止に係る状況について議論を実施する予定。開催時期は5月中旬を考えており、別途調整する。

以上